



開発課題 1-2 (小目標)  環境保全	【現状と課題】 ブラジルは、世界最大の熱帯雨林であるアマゾンを始め、気候変動対策及び生物多様性保全の観点から重要な森林・自然環境を有している。一方、進展する開発や森林の違法伐採、火災等により森林・自然環境の保全が課題となっている（森林面積の変化 -150万ha/年（2010年-2020年）：国連食糧農業機関（FAO））ことから、アマゾン森林保全や環境保全を含む持続可能な開発を促進するための、効果的な対応が求められている。			【開発課題への対応方針】 これまでの我が国の協力の成果を踏まえつつ、森林・自然環境保全を含む持続可能な開発の促進に向け、ブラジルにおける違法な森林伐採の抑止や森林・自然環境保全の推進に資する支援を行う。2022年末に採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」を踏まえ、生物多様性保全に資する又は生物多様性に配慮した取組を支援する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度			
	気候変動対策プログラム	森林伐採の抑止や森林・自然環境保全の促進に資する支援を行う。	先進的レーザー衛星及びAI技術を用いたブラジリアマゾンにおける違法森林伐採管理改善プロジェクト アグリフードチェーンにおけるイノベーション・エコシステム及び持続可能性強化のための精密・デジタル農業共創プロジェクト 持続的な林産業支援 環境保全分野の課題別研修	技プロ 技プロ 有償 課題別研修他	[Bar chart showing implementation periods for each project]						4.50 3.83 72.00 7.13	13, 15 2, 15 12, 13 7, 13	海外投融资
開発課題 1-3 (小目標)  防災	【現状と課題】 ブラジルにおいては、豪雨による洪水や土砂災害等が多発し、多数の死傷者が発生している。ブラジル政府は、2011年のリオデジャネイロでの900人以上が亡くなった土砂災害を契機とし、一層の防災対策を推進することを掲げた。効果的な防災対策を実現していくためには、リスク評価、自然災害のモニタリング・早期警報システム、都市部における危険地域での宅地形成の制御、防災インフラの整備等を統合的に進めていく必要がある。			【開発課題への対応方針】 自然災害のうち、特に土砂災害を主対象として、災害リスクの軽減を図るための協力をを行う。具体的には、我が国の防災技術や経験を踏まえ、主にリスク評価、リスクを踏まえた都市拡張計画、土石流対策構造物の設計・施工監理・維持管理、災害予警報体制及び災害観測・予測システムの構築等に資する支援を行う。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度			
	自然災害リスク統合管理プログラム	特に土砂災害を主対象として、災害リスクの低減に向けたリスク評価、土石流対策構造物の設計・施工監理・維持管理、リスクを踏まえた都市拡張計画、災害予警報体制及び災害観測・予測システムの構築等に資する支援を行う。	強靱な街作りのための土砂災害構造物対策能力向上プロジェクト 災害リスク低減支援のための基盤地図普及・実証・ビジネス化事業 土砂災害等早期警報システムにかかるビジネス化実証事業 インフラ事業における超低振動・超低騒音な圧入工法のビジネス化実証事業 防災分野の課題別研修	技プロ 普及・実証・ビジネス化事業 ビジネス化実証事業 ビジネス化実証事業 課題別研修他	[Bar chart showing implementation periods for each project]						4.85 11 11, 13 9, 11, 13 9, 11, 13	11, 13 11 11, 13 9, 11, 13 9, 11, 13	

重点分野2 (中目標)	投資環境改善												
開発課題2-1 (小目標) 投資環境改善	【現状と課題】 民間投資促進に関する課題として、人口増加やインフラ整備不足による都市機能の低下・環境の悪化、ブラジルコストと呼ばれる複雑な法制度や高額な税制、専門技術を有する人材の不足が挙げられる。				【開発課題への対応方針】 産業競争力強化のための環境整備や技術支援等、民間資金との連携も念頭に、人的資源の拡充を含め経済成長を促進する分野での支援を行う。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	産業人材育成プログラム	産業競争力強化のための環境整備や技術支援等、民間資金との連携も念頭に、人的資源の拡充を含め経済成長を促進する分野での支援を行っていく。	ブラジル国アマゾンアルミナ・アルミニウム製造合併事業に係る本邦研修	国別研修	2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度		8	有償助定技術支援
投資環境改善分野の課題別研修			課題別研修他								2, 8, 9		
重点分野3 (中目標)	三角協力支援												
開発課題3-1 (小目標) JBPPの推進	【現状と課題】 日本ブラジル・パートナーシップ・プログラム (JBPP) に基づき、日ブラジル双方の開発方針の合致する分野において最終受益国に対して戦略的に三角協力を推進する。				【開発課題への対応方針】 日ブラジル双方で確認した優良候補案件の案件形成を行うとともに、既存案件の円滑な実施とその成果の拡大を推進する。中南米地域、ポルトガル語圏アフリカ諸国、大洋州地域等を対象とした協力の実施を検討する。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	日本ブラジル・パートナーシップ・プログラム (JBPP)	JBPPの枠組みにおける共同プロジェクト、共同セミナー、第三国研修の3スキームを効果的に活用し、受益国の開発に資する三角協力の形成・実施を推進する。	地球観測データキューブに係る国際研修 - アマゾン流域地域におけるパイロットプロジェクト	第三国研修								13, 15	受益国：アマゾン森林諸国
			配水システムにおける無取水対策（予防、削減、コントロール）に関する好事例	第三国研修								6, 17	受益国：アンゴラ、コロンビア、エクアドル、モザンビーク
			ESSAP給水管網マネジメント能力強化プロジェクト	第三国研修		■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	6, 17	受益国：パラグアイ
			病院運営管理	第三国研修		■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	3	受益国：モザンビーク
地域警察プロジェクト			第三国専門家		■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	16	受益国：グアテマラ	

その他	その他															
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考			
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度						
その他			ベネズエラ難民・移民に対する保護、人道支援及び社会経済的包摂確保計画	無償	■	■						2.43	1, 6, 10	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)		
			サンパウロ市における音楽リハビリを活用した介護予防モデル構築	草の根技協	■	■								3		
			ブラジルにおけるキャリアアップ支援事業	草の根技協	■	■	■							8		
			ブラジル国ライフスキルトレーニング (LST) 持続発展のための組織力向上プロジェクト	草の根技協	■	■	■							4		
			日系社会連携分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■								17		
			ブラジル国内のベネズエラ難民の職業訓練分野における基礎情報収集・確認調査	基礎情報調査	■	■								5, 16		
			新型コロナウイルスに対するゲノム・モニタリング・ネットワーク強化プロジェクト	技プロ		■	■	■	■					2.00	3	
			社会福祉・教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	■							0.53	1, 4, 10	
			新興国金融行政研修(The Seminar on Improvement of Securities, Insurance, Supervision)	金融庁技協	■	■								9, 10, 17		

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「個別研修」(＝課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術) (＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS)) 「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス (SDGsビジネス) 調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線」(＝実施期間)、「破線」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。  
【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」  
【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)